

スギナ (散布処理) **25倍液**

北海道	6~9月	ていねいに
東北	5~6月	ていねいに
関東以西	4~6月	ていねいに

●スギナが生え揃った時期に散布してください。
●夏場の黒ずんだスギナには効果が劣ります。

タケ (注入処理) **原液**

各種竹類に対する効果 (完全落葉までの期間)

処理時期	モウソウチク	マダケ
夏処理 (6~8月)	3ヵ月	8ヵ月
秋処理 (9~11月)	6ヵ月	8ヵ月

原液をタケ1本ごとに10mℓ

使い方 [注入処理方法]
処理適期: 6~8月

①節から2~3cm下に穴を開けます。
②原液10mℓを注入します。
③穴をガムテープ等でしっかりと蓋をします。

樹木 (塗布・注入処理) **原液又は2倍液**

開花期以降あるいは7月~11月がお勧めです。

塗布する
新鮮な切り口に原液または2倍液を十分に塗布してください。

注入する
ドリルなどで、7~8cm間隔で深さ数センチの穴を開け、原液または2倍液を穴に1mℓずつ入れます。

木に注入処理するカ所数

地上30cm位置直径	10cm以下	10cm~15cm	16cm~20cm	20cm以上
ヶ所数	2~3	4~6	7~8	10以上

一年生雑草及び多年生雑草 (散布処理)

イヌガラシ **50倍液**

ハマスゲ (コウブシ) **50倍液**

クズ **50倍液**

散布適期	東日本	8~10月
	西日本	8~11月

タンポポ **100倍液**

ギンギン (ダイオウ) **100倍液**

カヤツリグサ **100倍液**

ヨモギ **100倍液**

メヒシバ **100倍液**

製品及び農薬登録に関する詳しい情報はラウンドアップホームページで <http://www.roundupjp.com> ラウンドアップ 検索

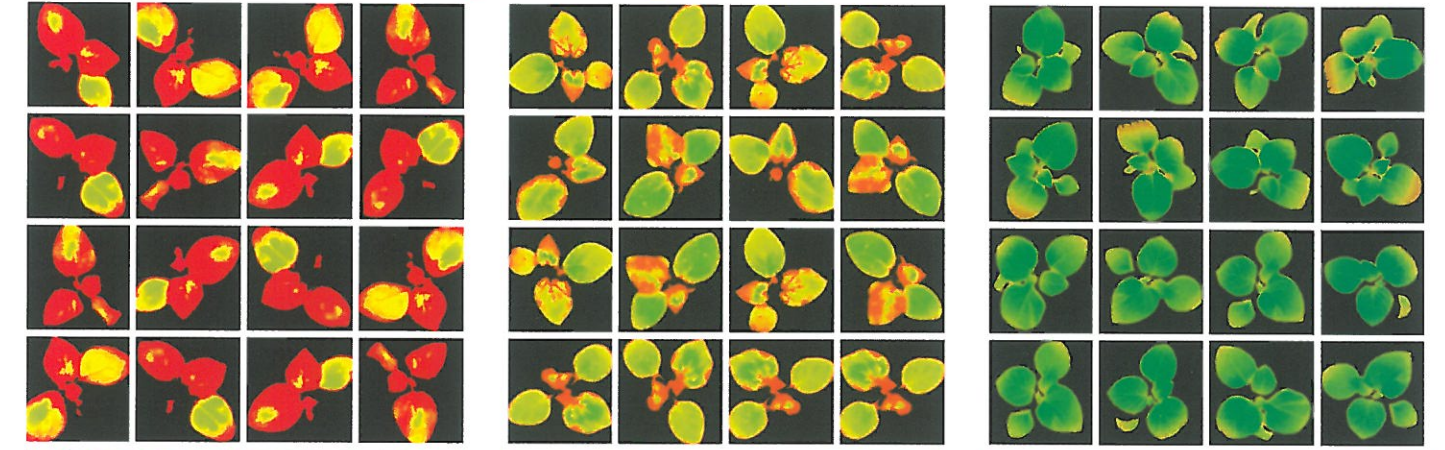
ラウンドアップお客様相談窓口
0120-209374
ホームページ <http://www.roundupjp.com>

日産化学工業株式会社
農業化学品事業部
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目7番地1
TEL 03-3296-8021

吸収力が違う!

Chlorophyll Fluorescence Imaging

試験場所: モンサント研究所
試験方法: [ラウンドアップマックスロード]と[従来のラウンドアップ]の各薬剤の200倍液を草種イチビに散布処理。処理3日後(72時間後)に観察を行った。
撮影方法: フルオルカムイメージングシステムを用いて撮影を行った。本システムは赤色ダイオード、白色光ランプ、CCDカメラ、コンピュータで構成され、750nmの可視光線を遮断し光合成反応を撮影することが出来る。
*吸収された成分が光合成を阻害する程度を表す。■赤色は大きく阻害、■黄色はやや阻害、■緑色は阻害がなされていない状態。



ラウンドアップマックスロード 大きく阻害
従来のラウンドアップ やや阻害
無処理 阻害無し



より確実に根まで枯らす
枯らす力のマックスロード!

ラウンドアップ マックスロード

THE NEXT TECHNOLOGY TO YOU トランジープIII



ラウンドアップ マックスロードの特徴

◎雑草の葉から入って根まで枯らす！

枯らしたい雑草の葉や茎にかければ根まで確実に枯らします。
又、掛からなかった植物を枯らす心配はありません。

◎あらゆる雑草に効果があります！

種類を選ばずどんな雑草でもしっかり枯らします。
例えば、根が深くからし難い[スギナ]も25倍液散布でしっかり枯らし、
又、繁殖力や生命力が非常に強い[タケ]も注入処理で枯らすことができます。

スギナ（散布処理）



生え揃った時期に丁寧に散布

タケ（注入処理）

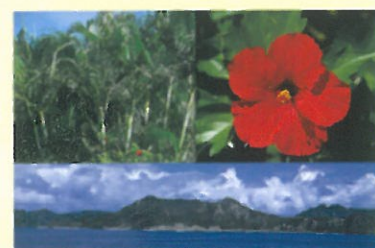
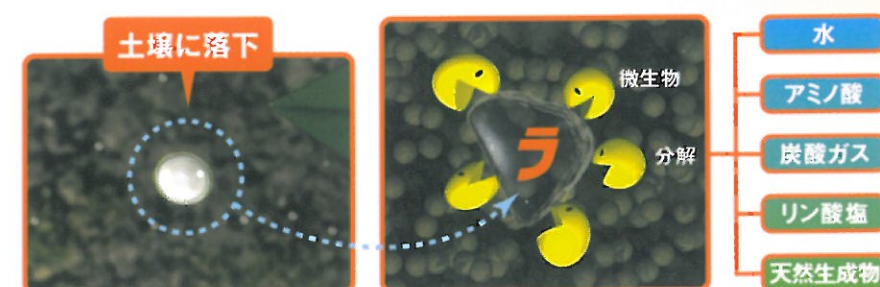


◎アミノ酸系除草剤です！

又、成分は毒劇物に該当しない普通物です。

◎土に落ちると自然物に分解！

雑草の茎葉にかからず土に落ちた成分は、土の粒子に吸着し、
その後微生物により自然物に分解します。



世界で信頼の除草剤ブランド ラウンドアップ

ラウンドアップは世界の環境保護区や、世界遺産（ガラパゴス諸島等）の保全にも広く利用されています。2011年、世界自然遺産として認定された小笠原諸島でも小笠原の固有種をおびやかす外来植物を無くし、大切な森の生態系を守っています。

活性成分の吸収力が違うから！

ラウンドアップマックスロードはトランゾーブテクノロジーIIの採用により、
従来品よりも活性成分の吸収力が圧倒的に違います。

①散布後の雨に強い！

②朝露に強い！

③低温時に強い！



①散布1時間後の雨にも強い！

散布から1時間経てば、その後雨が降っても大丈夫。



試験場所：（株）日産化学工業（株）生物科学研究所（2006年）
試験草種：スギナ（草丈35～45cm）
処理方法：スギナに各草種の25倍希釈液を散布処理し、1時間後に人工的に2mmの雨を降らせ、処理18日後に調査を行った。効果比較による判定値（枯殺率）

[従来のラウンドアップ]が散布後6時間以内の降雨に効果が劣る場合があるのに対し、
[ラウンドアップマックスロード]なら散布後1時間経てば確かな効果を発揮します。



②低温時に強い！

雑草の活性が低い低温時に散布しても、
しっかり枯らします。

気温が低いときに散布した場合の効果 [処理21日後 / 枯殺率（%）]

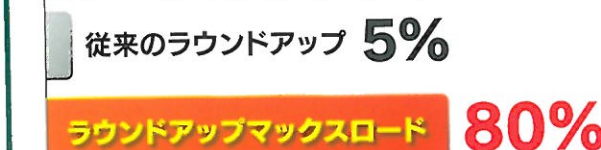


試験場所：日産化学工業（株）生物科学研究所（2006年）
試験草種：スズメノテアサイ 処理時期：3月上旬 処理時の気温：9℃
処理方法：早朝の比較的低温の時に、各草種に200倍希釈液を散布処理、処理21日後に調査を行った。

③朝露が付いた状態に強い！

早朝の作業で、朝露が付いた状態の雑草に
散布しても、確かな効果を発揮します。

朝露が付いた状態で散布した場合の効果 [スギナ：処理35日後 / 枯殺率（%）]



試験場所：北海道札幌市 試験草種：スギナ（草丈：40～50cm）
処理時期：6月上旬 処理方法：朝露後35日